



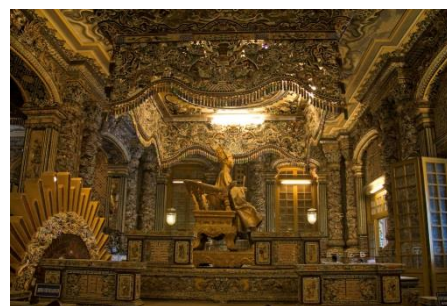
宮廷料理は「麗」

フエではグエン王朝の時代に成立した宮廷料理が現代に伝えられています。宮廷料理を楽しむレストランでは、動物や植物の形を模した盛り付けで、目も舌も満足させてくれます。準備に時間がかかる料理なので、ご予約をおすすめします。

味
わう

ローカルフードは「辛」

北部は塩っぱく、南部は甘めのベトナム料理。中部では唐辛子や黒胡椒を好む習慣があり、辛い料理が多いのが特徴です。でも大丈夫、小さな子どもも多いので辛さは自分で調節するのが一般的です。



詩と酒を愛したトゥドック帝、中国文化を好んだミンマン帝など。西洋と東洋の文化を取り入れたカイディン帝の帝廟は豪華絢爛で見ごたえあり、です。

世界遺産は王宮だけじゃない。

フエの建造物群として世界遺産に登録されたのは、王宮を含めた16カ所の建造物。なかでも歴代皇帝の帝廟は、それぞれの皇帝が風水を取り入れた立地で建てられているのでそれぞれの皇帝の趣向を顕著に表していて面白い場所です。

観
る



フエの地ビールといえば、HUDA(フダ)ビール。ダナンやホイアンにはあまり出回らないので、ぜひフエで。



郊
外

世界遺産「フォンニャ洞窟」(フエ市内から約200km)
フエからの日帰りツアーは早朝出発で1日がかかりますが、ベトナムに来たらからにはぜひ行きたい場所です。できれば1泊してパラダイス洞窟にも足を運ぶのがおすすめです。

ミーアン温泉(フエ市内から約6km)

40℃～の硫黄泉でしっかりくつろげます。



フクティック村(フエ市内から約40km)フクティック焼と呼ばれる陶器が観光客に人気です。古民家ステイや地元の人たちがつくる伝統料理を楽しみましょう。



ドンバ市場

フエ旧市街の中心市場。迷路のように複雑で、何がどこにあるのかまるで探検のようだけど、日用品やお土産、アオザイの生地から食品までなんでもそろうのがドンバ市場。

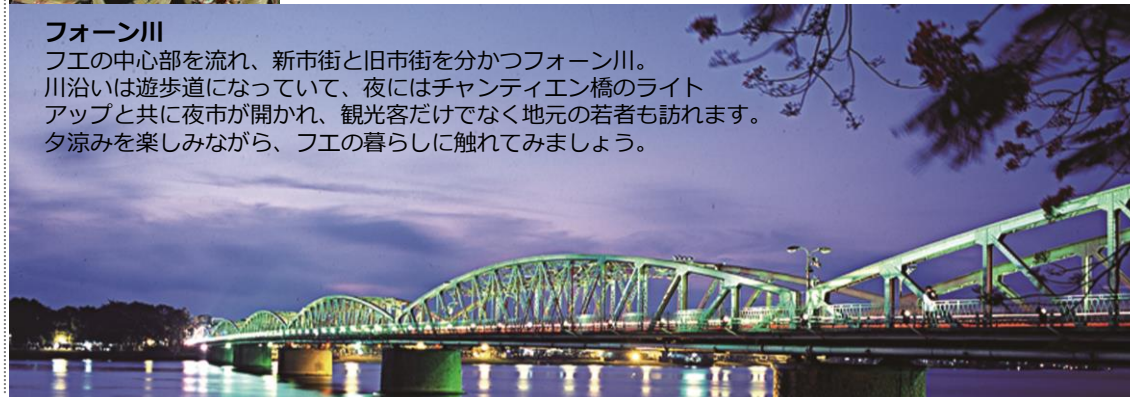
3個以上のまとめ買いだと値下げ交渉がしやすく、お得です。ぜひ、地元の人と観光客で買った返す売場の熱気を感じてみてください。14:00-18:00ごろに行くのがおすすめ。



市
内

フォーン川

フエの中心部を流れ、新市街と旧市街を分かちフォーン川。川沿いは遊歩道になっていて、夜にはチャンティエン橋のライトアップと共に夜市が開かれ、観光客だけでなく地元の若者も訪れます。夕涼みを楽しみながら、フエの暮らしに触れてみましょう。



水牛、おじいちゃん和孩子たち。現地の人と交流したり、伝統工芸の笠帽子「ノンラー」作りを体験してみましょう。フエからは自転車で村をめぐるサイクリングツアーもあって、欧米人に大人気。村を訪れたら、地元の市場にも足を運んでみましょう。

フエの日本橋

フエ市内から車で約15分、そこは昔ながらの農村地域。「フエの日本橋」と呼ばれるタイントアン橋と、そこに広がる昔ながらの田園、

体
験

